

愛知県環境審議会 自然環境保全部会
会 議 録

1 日時

令和7年12月24日（水） 午前10時00分から午前11時00分まで

2 場所

愛知県自治センター 6階 第603会議室

3 出席者

(1) 委員（※オンライン参加）

渡邊部会長、西田委員※、増田委員、守安委員、安藤専門委員、香坂専門委員、島田専門委員※、富田専門委員、西本専門委員※、福田専門委員、丸山専門委員、宮崎専門委員（以上12名）

(2) 事務局

愛知県環境局：杉本環境政策部長

自然環境課：和田課長、石原担当課長、福田担当課長、大島課長補佐、飛田課長補佐、西郷課長補佐、佐藤課長補佐、伊藤主査

(3) 傍聴人

なし

4 議事

議事に先立ち、渡邊部会長から増田委員が部会長代理に指名された。

(1) 審議事項

あいち生物多様性戦略2030の中間見直しについて

(2) 質疑応答

別添のとおり

(1) 審議事項

あいち生物多様性戦略 2030 の中間見直しについて
事務局から資料 1～6、参考資料 1～7に基づき説明

〈質疑応答：中間見直しについて〉

(福田専門委員)

成果指標について、先行して達成しているもの、進捗が芳しくないものなどは当面変更しないということで良いか。

(事務局)

成果指標は中間見直しに合わせて更新、追加等を予定しており、関係部局と調整を進めている。次回の部会において調整結果をお示ししたい。

(福田専門委員)

成果指標としている市町村の生物多様性地域戦略策定数が順調に伸びているが、地域戦略を策定して以降、新たな動きが無い自治体もある。次の段階として、PDCA サイクルにより各自治体が戦略を進めていかないと成果が上がらない。今後は各市町村の地域戦略の進捗状況についても確認していけると良い。

(事務局)

市町村の地域戦略策定数については、策定、改正の予定等を毎年度確認しており、個別に相談のあった市町村に対しては適宜アドバイスを実施している。現状、各市町村の進捗状況のフォローまでは実施していないため、今後の検討事項としたい。

(部会長)

数値目標は数値自体の話題が先行しやすい。今後は、数値目標の内容についても状況を精査し、次のステップとして、フォローを進めていけると良い。

(香坂専門委員)

国家戦略も状態目標及び行動目標という性質の異なる目標を設定しているが、今後はそうした目標の性質に応じて分かりやすい形にできると良い。また、みどりの食料システム戦略などの農林漁業分野や、気候変動適応策などとの相乗効果、或いはトレードオフなども踏まえて検討いただけると良い。

私も CLA (Coordinating Lead Author、総括執筆責任者) として参加している IPBES (Intergovernmental Science-Policy Platform on Biodiversity and Ecosystem Services、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム) で、2026 年 2 月 9 日にビジネスと生物多様性に関する評価報告書をプレスリリースする予定。今回、報告書の中に愛知県の取組を盛り込む事は出来なかったが、ビジネスと生物多様性に関する情報が発信される予定なので、企業認証制度や企業向けのセミナーを行っていく上で参考としていただきたい。

(部会長)

次回の部会において県から何かしらのコメントをお願いしたい。

〈質疑応答：新規の成果指標について〉

(福田専門委員)

自然共生サイトや企業認証制度は企業から相談を受ける事も多く、具体的な認定、認証がされるので、成果指標に入れるのは良い事と思う。一方で、企業にも生物多様性の専門家がいる訳ではないので、これらの制度を広めていくためには企業等に対する説明会や各事例の講習会などで、周知を図るとよい。

(事務局)

自然共生サイトについては、国が講習会、セミナー等を開催しており、申請に向けた事例の共有なども徐々に進んでいくのではないかと。県としても、事業者が申請する上での要点等をまとめて展開していきたいと考えている。

企業認証制度については、2024 年度に申請書の書き方や目標設定の仕方などを詳し

く解説する動画を作成して県のホームページに掲載しており、これを利用して周知を図っている。

(部会長)

企業認証はある程度順調に進んでいるが、自然共生サイトは体力のある企業、自治体以外ではスタッフ数の制限などもあり、取り組むのは難しい。事例の紹介など、県の方でもサポートいただければと思う。

(増田委員)

自然共生サイトについて、名古屋市は市として自然共生サイトを登録している。県も自然共生サイトの認定申請を行ってほしい。

(事務局)

今年度、NPO等の団体を対象に自然共生サイトの認定申請支援を事業として実施しており、この事業で得られた知見を展開していきたいと考えている。

(香坂専門委員)

自然共生サイトの申請主体は半分が企業、自治体やその他法人等の団体が残り半分ほどといった状況。沿岸域での申請が少ないため、知多グリーンベルトなどを沿岸域まで広げていただくなど、沿岸までカバーできる取組が広がっていくと良いと思う。今年度から法制化に伴い対象となった回復、創出タイプは、まだ数が少ないため、全国に先駆けて愛知県としてモデルが出来ていくと良いと思う。

加えて、企業の申請が減っていかないよう、インセンティブや、評価してあげることが必要。

少し心配しているのが、保全面積を重視するあまりに質が伴っていないサイトが増えてくることも懸念されるため、県で支援を行っているサイトについても、モニタリング体制を整備しておく必要があるのでは。

(事務局)

企業ではサプライチェーン全体で生物多様性に関する取組が求められる傾向が強まっており、どのように対応していけば良いか、といったご相談を受ける機会も増えている。今年度、愛知県では企業向けの生物多様性保全に関するセミナーを開催しているが、そうした要望、ご相談に対応する内容を自然共生サイトとも絡めてセミナーに取り入れ、次年度以降、企業の方々に示していきたい。国においても自然共生サイトの認定にあたり、継続性の担保を重視するようになっており、情報収集に努めながら、県内の自然共生サイトのモニタリングや質の担保についても考えていきたい。

(富田専門委員)

自然共生サイトを指標に新しく入れていく事は素晴らしい事と思うが、市民団体やNPOなどの小規模な団体では、企業または個人の土地で信頼関係に基づき活動しているケースが結構多い。正式に自然共生サイトの申請を行うとなると、地権者と改めて関係構築が必要となり、地権者が自然共生サイトに関して理解や知識がない場合、ハードルが高くなってしまいう事例もあるように聞いている。そうした場面で行政のサポートがあるとスムーズにいく部分もあると思う。その辺りのサポートを今後の戦略に入れていただけるとありがたい。

(部会長)

すぐには無理な部分があると思うが、自然共生サイトを指標として増やしていくのは良いが、質の担保や裾野が広がるようなサポートが必要だ、ということだと思う。サポート体制があれば参画する企業、自治体、団体も出てくると思うので、個別案件というよりも全体の総括的な立ち位置で体制づくりをしていただければ。

(福田専門委員)

自然共生サイトについて、企業は企業の土地だけで完結するが、生態系ネットワークの観点で考える場合は隣接地域との連携も必要になる。市町村が管理している土地はその協力が得られるか、という問題がこれまでであり、市町村はあまり積極的ではないので、インセンティブか、戦略への位置づけがあると市町村も積極的になると思う。

(香坂専門委員)

自然共生サイトの評価は数、面積、質、リスクなど色んな議論があるが、面積という点では、大学などの研究機関の所有する、演習林などの土地が占める割合も大きい。今後は、企業、NPO、行政、大学などの主体が連携し、行政が仲立ち、もしくはプラットフォームを立ち上げるなどして申請を行っていくのが中心になってくるのではないか。認定申請支援を行う上では各主体をつなげる事や、富田専門委員がおっしゃったように、境界線の確定なども当然必要になってくる。仲立ちや、先ほどのモニタリングについても費用をかけずにやっていくためには、市民、或いは企業の社員の方に参画いただくことも重要になる。

(福田専門委員)

重点プロジェクトFのジビエの普及について、イノシシは公的機関の検査により豚熱陰性が確定してからでないと流通出来ない。しかしながら、検査数に限りがあるため、流通量がなかなか増えないといった事情もある。このため、重点プロジェクトを推進する上では検査の考え方についても整理が必要。

重点プロジェクトDの生態系ネットワーク協議会の機能強化について、参加団体数は増えているが、事務局機能に係る間接経費が無いためボランティアでやらざるを得ないという状況にあり、事務局機能の強化に課題がある。

重点プロジェクトCの外来生物対策について、すでに広く定着、繁殖してしまっている種への対応をどうしていくか。例えば、クビアカツヤカミキリの対策をする場合は莫大な予算が必要となるが、今、県として何を一番危険視して取り組んでいくかを明確にしておくが良い。ツヤハダゴマダラカミキリが岐阜県でハナノキに被害を与えている。ハナノキは愛知県の県の木でもあり、自然状態での移動能力は高くないが、トラックなどに付着して愛知県に流入する可能性があり、甚大な被害を与えるおそれがあるため、要注意。

(部会長)

事務局は今回の意見等を踏まえ、数値目標を含めて精査ののち、次回の部会までにまとめていただきたい。

以上